令和元年度　森林環境譲与税の使途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	実績															税導入の効果
							森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			
							意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			その他	事業体等への助成		研修、講習、求人イベント等		その他	研修や普及啓発イベント等		その他	
								間伐(ha)	除伐(ha)	その他	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数(回)	参加者数（人）		回数(回)	参加者・体験者数（人）		
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）																		
意向調査の準備作業	山林境界確定測量委託料	3,640	3,625	15		当面整備の予定がなく、過去に間伐等の履歴の無い区域において、境界確認及び簡易測量を行い、山林所有者に成果確認と今後の森林整備に関する意向調査を実施した。	24							境界明確化 62.65ha									・意向調査を24ha実施し7名の回答を得ることができた。 ・担い手確保事業として新規就業者3名への技術取得等支援を行い、技術者育成につながった。 ・白川町産ヒノキ書家具（テーブル1台、チェア10脚）の設置と木製品の出産祝い品を30名に贈呈したことにより木材の普及啓発を行った。 【詳細】 ○意向調査準備作業では、山林の境界が不明な個所において、境界と林況調査を実施したことにより、整備の必要性と所有界を確認することが出来た。意向調査は、7名24haについて回答を得た。今後意向調査を進めていく中で、森林整備につながる方策を検討していく必要がある。また、境界の簡易測量の為のGPS測量機を購入した。
担い手確保	林業担い手育成事業補助金	3,369	3,369	0		林業事業体・林業者で組織した協議会が行う新規就業者への技術習得、装備品等への支援、情報交流等の活動費に対して補助を行った。									6	8	7	58					○担い手確保では、令和１年度３名の新規就業者を育成することが出来た。また、今後新たな就業希望者受け入れの為、指導者に対する研修や、町内林業者の意見交換会を実施し、森林整備を担う森林技術者の育成を推進することが出来た。
木材・普及啓発関係	白川町産ヒノキ家具導入	1,159	1,159	0		産学官連携によりデザイン・開発した町産ヒノキを活用した家具（テーブル・チェア）を購入し、町内施設に導入した。																テーブル１台 チェア10脚	○白川町産ヒノキ家具購入 東濃ひのきの産地PRとヒノキ材の家具への活用のため、大学と家具メーカーと協同で開発したダイニングセットを、町内の道の駅の休憩スペースに配置し実際に目と手に触れていただくことで、町内外の人に対して地域材の活用と、木材の利用を普及啓発することが出来た。
木材・普及啓発関係	出産祝い品	324	324	0		新生児に対して、町産ヒノキを使用した玩具(積み木）をプレゼントした。																	○出産祝い品 大学と地元企業と町が連携して開発した玩具（積み木)を、町で生まれた新生児に対する出産祝い品として贈呈することで、幼児期から木に触れる木育を進め、森林・林業に関心を深めることが出来た。 残額は、今後の森林整備や境界明確化に対する基金として積み立てた。
基金積立（森林整備等）	森林整備基金積み立て	14,250	14,250	0	14,250	今後の森林整備や意向調査準備作業に対する費用を積み立てた																	
合計		22,742	22,727	15	14,250																		